

株式会社 日立製作所 関西支社によるTDMへの取り組み

万博開催期間中の混雑状況下においても、従業員の健康と安全を最優先に、成果を出せる柔軟なワークスタイルを実現

<ヒトの流れに対する取り組み>

■以下の取り組みについて、日立製作所 関西支社 従業員に向けてアナウンスを行い、各職場で検討する。

①在宅勤務や近隣のサテライトオフィス等の活用

(出社しなくても出来る業務は在宅勤務での実施を原則とし、最適なワークスタイルを実現した上で、会場周辺等での移動量を削減)

②フレックスタイム制度（コアタイム無し）の活用

(万博来退場のピーク時間を避け、交通混雑を緩和)



在宅勤務

(自宅・親族の居住地)

業務効率・生産性向上と共にプライベートな時間の増加によるワークライフバランスの両立を実現する。

特徴

- ・柔軟・効率
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・集中できる業務環境
- ・移動時間の削減

活用事例

- ・通勤時間の活用
- ・個人作業(資料作成等)
- ・リモート会議
- ・育児・介護・治療と仕事の両立



サテライトオフィス勤務

移動時間の短縮・出張前後の隙間時間の有効活用を通じ、効率的な働き方を実現する。

特徴

- ・柔軟・効率
- ・集中できる業務環境
- ・移動時間の削減

活用事例

- ・個人作業(資料作成等)
- ・コミュニケーション(対面・リモート)
- ・出張前後の時間の活用
- ・資料印刷(一部サテライトのみ)



スポットリモートワーク

連休の狭間や前後の就労日、一日の隙間時間等で勤務場所を柔軟に選択し、生産性向上につなげる。

特徴

- ・柔軟・効率
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・集中できる業務環境
- ・移動時間の削減

活用事例

- ・個人作業(資料作成等)
- ・リモート会議
- ・育児・介護・治療と仕事の両立
- ・ワーケーション



フレックスタイム制度活用

より柔軟な働き方を促進し、ひとりひとりの働きがい、生産性向上につなげる。また、一日の最低勤務時間を設けないことで、非就業日を設定することもでき、自律的に勤務日の選択が可能。

特徴

- ・柔軟・効率
- ・多様な個人事情と仕事の両立
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・働きがいの向上

活用事例

- ・時差出勤
- ・非稼働日の設定
- ・キャリア開発
- ・育児・介護・治療と仕事の両立
- ・プライベート充実

例：混雑緩和のための時差出勤

フレックス活用

0:00	就寝
1:00	
2:00	
3:00	
4:00	
5:00	身支度・朝食
6:00	通勤
7:00	仕事
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	休憩
12:00	
13:00	仕事
14:00	
15:00	子どものお迎え
16:00	仕事
17:00	家事
18:00	
19:00	夕食
20:00	
21:00	団らん
22:00	
23:00	就寝
0:00	

通常勤務

0:00	就寝
1:00	
2:00	
3:00	
4:00	
5:00	
6:00	身支度・朝食
7:00	通勤
8:00	
9:00	仕事
10:00	
11:00	休憩
12:00	
13:00	仕事
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	家事
18:00	
19:00	夕食
20:00	
21:00	団らん
22:00	
23:00	就寝
0:00	

※対象者(在宅・サテライト)：月俸者/裁量労働勤務適用者/業務遂行上有効と認められる者 等

※対象者(スポット)：月俸者/裁量労働勤務適用者

※基本原則：上長・職場同僚や他部署等と十分に連携